

## 集会参加の2000人が秋空に怒りの声をあげデモ行進（全国高齢者集会）

退職者連合は、9月14日午後1時から「2017全国高齢者集会」を東京・文京シビックホールで開催した。集会には退職者連合の会員2000人が参加、「安倍政権の無法政治をやめさせる絶好の機会が到来、政治の流れを変えるために連合をはじめとする幅広い勢力と力を合わせ、衆議院選挙を勝ち抜こう」とのアピールを採択、選挙闘争への意思統一をはかった。集会後には白山通りを西神田公園までデモ行進して「生き生きと安心して暮らせる社会をつくろう」と訴えた。

集会では主催者を代表してあいさつに立った退職者連合の人見一夫会長は、衆議院の解散総選挙の動きをふまえながら「安倍政権の方向違いの政策運営や問答無用の国会運営をやめさせ、政治の流れを変えなければならない」ことを強調し、行動する退職者連合としての行動を呼びかけた。

来賓では、連合の神津里季生会長が、メディアで取り上げられている働き方改革に伴う長時間労働の是正に関わる労働基準法の改正案についてふれ、「上限規制を入れる主旨の内容を法律に盛り込めばよいわけで、いらぬものまで盛り込む必要はない」との連合としての考え方について語った。その後、民進党大島敦幹事長、社民党吉田忠智党首、中央労福協花井事務局長、労金協会吉田正和副理事長、全労済濱田毅司常務執行役員が各々の立場で連帯と激励のあいさつをした。

今年の全国高齢者集会是会員のふれあいの時間を設けたことで、第1部はこれまで通りの式典として開催し、第2部を交流の場としたのが特徴だ。

今年は岡山県退職者連合に所属する3人の女性会員が養護老人ホームへの訪問活動で披露している「剣詩舞」を帯剣に袴姿もりりしく、舞台上で熱演し会場から万雷の拍手を受けた。

また、地域からの報告では、岩手県退職者連合の菅崎会長と熊本県退職者連合の米岡会長から、各々東日本大震災、熊本地震の被災地の厳しい現状と継続的な支援の必要性が訴えられた。北海道退職者連合の富山会長からは5年前から取り組んでいる核兵器廃絶を訴える高校生平和大使派遣のための1万人署名やカンパ活動の報告があった。

さらに、内閣府の「平成29年度エイジレス・ライフ実践事例及び社会参加活動事例」事業での表彰が行われた。今年は、エイジレス・ライフ実践事例で小林須磨子さん、社会参加活動事例で札幌市退職教員協議会の合唱サークル・睦が受賞し、人見会長から賞状と盾が手渡された。

集会の終了後、集会参加者2000人が会場のシビックホールから東京ドームを横目に白山通りを西神田公園まで横断幕を先頭にしてタンバリンを手にデモ行進した。大山会長はじめJAMシニアクラブのメンバー29名は、第4グループの仲間と元気に安倍政権への怒りの声をあげて行進した。

